



# 射水

射水神社社報  
第18号



二上山を望む

# 日本人の精神の甦りを

射水神社宮司 松本正昭

東日本大震災から一年以上が過ぎ、いまだ膨大な瓦礫の山が随所に残り、被災者の仮設住宅での暮らしがつづき、被災地の復興も遅々の状態であります。

復興への道標は物量的なものとは異なるながら、日本を日本人たらしめる精神を甦らせることであろうと思います。

震災後の日本人の秩序正しさと礼節に諸外国は一樣に称賛の声を発しました。しかし、時が経つにつれ戦後教育の弊害が禍々しい事件として頭をもちあげつつあり、震災直後の称賛は外国からも疑念をも生むことになったようでもあります。

こうした外国からの反応はともかく、私達は日本の国柄とは何か、日本人とは何かを考えなければ、日本人としての自覚が持てません。自覚がなければ誇りが持てません。先の灯りが見えなければ漂流をつづけるばかりであります。

山上憶良は万葉集の長歌で  
神代より 言ひ伝て来らく  
そらみつ 大和の国は

皇神の 厳しき国  
言霊の 幸はふ国と 語り継ぎ  
言ひ継がひけり

と、日本は万世一系の天子を戴き、美しい大和言葉が満ち溢れた素晴らしい国と歌に思いを託し、そしてまた、古事記にある倭建命の歌に

倭は 国のまほろば たたなづく  
青垣 山隠れる 倭しうるはし

と、山々が青垣のように幾重にも重なり四季に恵まれた素晴らしい国であることを歌に託しております。

このように、この歌からも読取れる、恵まれた国土の恩沢によって感得する言葉（言霊（ことだま））から、万世一系の皇室を中心とした国の生立ち、そして目に見えない自然界にやどる神々への畏れと感謝から精神的価値観を醸成し、日本を日本人たらしめているのであります。

震災後、両陛下が被災地を訪ねられた時、最初に海に向かって深々と頭をおさ

げになられ、それから今度は山に向かつて又深々と頭をおさげになられました。なぜ、そうされたのか。私たちはよくよく考えなくてはならないと思います。被災された方々への哀悼の心。そして、人間と自然との共存共栄を願われる両陛下のお姿です。このお姿は、清明心、誠心の顕れで、両陛下自ら日本人たらしめる精神を国民にお示しになられているお姿であります。

神宮の正宮には心（しん）の御柱がありますように、物にはすべてに中心があつて、それがずれた時に物事すべてが崩れ去ります。

日本は今混乱の極地にあります。皇室を中心をいただいている限りは絶対に揺るぐことはないと確信しております。天皇陛下がお示しになられている日本精神を我々が後世に渡していくことこそ、現代に生きる我々の使命であると共に、日本再生の道標になると信じております。

# 平成二十四年度 崇敬奉賛会総会

本年度の崇敬奉賛会総会が六月二十五日に参集殿で開催され、会員七十名が出席しました。

総会は「国旗儀礼」に始まり、「平成二十三年度活動報告・決算報告」、「平成二十四年度活動計画案・予算案」についてそれぞれ承認されました。

また、会則改正により、新たに役員として「総裁」を推戴することとなり、橘慶一郎氏を満場一致で総裁として推戴することとなりました。橘新総裁からはご挨拶をいただきました。

また、平成二十七年の射水神社御鎮座一三〇四年・御遷座一四〇年式年大祭の斎行や、射水神社叢書刊行に向けた神社史の編纂など各記念事業について概略の説明が行われました。

その後、基調講演として、高岡市立博物館の晒谷和子館長より「知られざる高岡古城公園」と題しご講演をいただきました。

## 橘慶一郎総裁



### 略歴

東大法学部卒業後、北海道開発庁入庁、ケンブリッジ大学大学院修士課程を修了。退官後、高岡市長を務め、現在は衆議院議員。

また、衆・参両議員を務められた祖父の橘直治氏は本会の元総裁。

<http://www.t-k1.net/index.html>



国歌斉唱



講演される晒谷和子館長

### ◇新入会員

(敬称略)

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 大谷内 勇             | 岡田 有由 |
| 杉本 繁機             | 中野 裕  |
| 中橋千恵子             | 萩原 貞亮 |
| 巻田 安雄             | 山崎 太志 |
| 藤田 敬子             |       |
| 株式会社 井筒授与品店       |       |
| 株式会社 伊藤園 高岡支店     |       |
| 扇子昆布店             |       |
| 第一物産株式会社          |       |
| 太閤堂               |       |
| 有限会社 すまいる         |       |
| 株式会社 セイアグリーシステム   |       |
| 株式会社 晴香園          |       |
| 長田広告株式会社          |       |
| 株式会社 日本旅行Tis 富山支店 |       |
| 福島工業株式会社 富山営業所    |       |
| 株式会社 ベネフレックス      |       |
| 優トラベルクラブ          |       |

# 杜の景色

## 祭事暦（上半期）

- 1月1日 歳旦祭 初詣
- 1月14日 左義長  
（射水の火祭）
- 2月3日 節分祭
- 2月11日 紀元祭
- 2月17日 祈年祭
- 4月18日 高岡市護国神社  
春祭
- 4月22日 日吉社春祭
- 4月23日 院内社春祭
- 4月29日 昭和祭
- 5月13日 悪王子社春祭
- 6月25日 崇敬奉賛会総会
- 6月27日 鎮火祭
- 6月30日 夏越大祓  
人形感謝清祓式
- 7月2日 職場安全祈願祭
- 7月10日 悪王子社秋祭
- 7月27日～29日 奉納書道展

## 春の大御祭

麗しく

四月二十三日、当神社最重儀の例祭が執り行われました。お祭りでは、ご本殿の御扉をお開けし、十二台もの神饌を供え、射水神社崇敬奉賛会から幣帛が奉られました。また、うつくしの杜に響き渡る御神楽「浦安の舞」の優雅な調べと、古の手振りを偲ぶ舞姿は大勢の参拝者を魅了しました。



## 綿貫 武崇敬奉賛会長 白寿を祝う会 開催される

当神社崇敬奉賛会会長である綿貫武様の白寿（99歳）を祝う会が、四月二十七日、参集殿にて盛大に開催され、お祝い申し上げます。

綿貫会長におかれては、平成十八年に会長御就任以来、御神徳の宣揚、神社活動にご助力を賜っております。今後益々の御長寿を心よりお祈り申し上げます。



## 夏の祓え

六月三十日午後六時より、夏越大祓並びに人形感謝清祓式が執り行われました。

当日、茅の輪の前には長蛇の列ができ、参拝者は人形で罪穢れを祓った後、「みな月のなごしの祓する人は 千年の命のぶといふなり」と唱え、境内に設けられた茅の輪を三度くぐり、健康な毎日を送れるように祈りました。



# おついたち参りに『つきたて菓子』



崇敬される射水神社を心静かにお参りください。

お供えした『つきたて菓子』は、いみづ茶寮で一箱五百円（税込）にてお求めいただけます。

ご家庭では神棚にお供えされた後、ご家族皆様で『つきたて菓子』を囲み、一家団欒の場でお楽しみください。

日本には、春にはヨモギの草もちや牡丹餅、秋にはお萩など、お節旬などにはお餅・菓子をお供え・ご先祖様にお供えし、家族揃っていただく良習があります。

毎月の「朔日祭」（二日午前十時より）に、その月や季節、射水神社・越中国・万葉集をイメージした月替わりの『つきたて菓子』として、当社御用達の老舗菓子舗が心を込めて奉製したものが神様にお供えされます。

お一日には、越中総鎮守一宮と



# 神前結婚式

平成二十三年  
師走 十二月奉式

山田秀之・聖香  
小野雅史・尚子  
藪下遊・有紀  
天坂信亮・久子  
砂田自生・亜由美  
前田一昭・洋子  
小林敬・公陽子  
澤田貴之・裕子  
山本剛・千登世  
平成二十四年  
如月 二月奉式  
藤田学洋・香  
江口孝弘・佳未  
近藤宏・茜  
弥生 三月奉式  
高多葵・章代  
沙多政希・えりか  
橋本泰弘・貴代  
村田憲三・由佳  
吉田岳史・鮎美  
卯月 四月奉式  
丸山勇太・弥生  
水口幸大・夏海  
原仲嘉・明日香  
板宏司・久恵

皐月 五月奉式

田中秀和・有希  
坪田宏樹・典子  
中田孝徳・聡美  
横井啓太郎・愛果  
水無月 六月奉式  
佐々木大輔・真弓  
山田泰三・知恵  
星井博昭・佳子  
野開和宏・美衣  
嶋祐輝・まゆこ  
吉野大祐・美加  
浦田孝之・有美  
大谷朋之・真由美  
島田忠治・加奈

小野田善之・裕美  
松本正紀・菜緒  
高木秀一・愛  
松本翔平・名央子  
内嶋将貴・乃梨子  
舟瀬公一・優子  
吉國信輔・愛  
島伸吉・優里  
長田昌也・麻莉  
坂喜友和・春代  
吉野恭平・美紗子  
白岩英展・妙子  
長谷川真吾・愛美

# 越中の食彩

丸果株式会社 高岡青果市場  
代表取締役社長 田井 佳夫

農林水産省の発表によると、富山県の平成二十二年度の野菜産出額は前年より九億円多い四十九億円で、前年に比較すると二十三%増の伸び率であったとの報告がありました。

ちなみに全国一位は北海道の二千三十二億円で四十六位は福井県の六十七億円です。

富山県は残念なことに昭和五十九年から全国最下位が定位置となっております。当社においても年間の県内産の野菜のシェアは十三%程度になっています。要因の一つとして、水田化率が九十六%で兼業率が高く、野菜生産に取り組む農家が少ないことが事由です。

そこで当社においても地場野菜の消費拡大をはかるため、「富山てんこ盛り事業」を平成二十年に立ち上げ、今迄市場流通していなかった県内野菜の掘り起こしを目指しています。今年度は売上高一億円を計画しました。

呉西の中心、高岡市においての目玉商品は何と言っても「法蓮草」が

注目されます。市場周辺の上関地区の生産量が一番多く、年間約一億円の産出額があります。付加価値を高めるため、全国的に生産量が減少する冬場をターゲットに、特に甘みの強い「寒締め法蓮草」の生産拡大をはかっています。

冬場のハンデを逆手に取り、雪を利用した「カン(寒)カン(甘)」という野菜のネーミングでスーパーの店頭を飾っています。人参・白菜・大根等雪の下で管理することで野菜本来の甘味が増し、美味しさを堪能することができますようになってきました。



法 蓮 草

## 献灯「提灯」

### ご奉納



献灯「提灯」のご奉納をいただきました。初詣や年間恒例の祭典に掲げさせていただきます。(敬称略)

● あけぼの敬神講 向山 耕司

● 第一物産株式会社

● 有限会社 西川構装社

● 藤川 勝喜

● 株式会社藤田銅器製作所 代表取締役 藤田 整司  
引き続き、会社・個人・団体のみなさまよりご献納を賜りたく、お願い申し上げます。

「二張 二万五千元」

## 人 事

### 昇 進

権禰宜 田中 天美

平成二十四年四月一日

### 新 任

巫女 島田 純子

平成二十四年四月一日

巫女 松井あゆみ

平成二十四年六月九日

# 『ふるさと 射水神社』

## ⑰ 高岡築城（その二）

高岡城の建設工事は利長の激しい督促により、本丸工事を最優先に驚異的な早さで進められた。八月二十五日頃には本丸の

石垣が崩れ、たまたま、普請人夫の帰休直後であったため、再築を来春まで延期せざるをえなかったような不測の事故も発生している。それでも九月初旬には、本丸の大広間・次の間・台所・物置など、居城としての必要最小限の建物や、本丸の塀と土橋が竣工した。九月十三日早朝、利長は主立つ家臣四百三十四名を従え魚津城を出て、同日の午後には、無事入城を果たした。築城開始からわずか半年足らず

であった。なお、入城三年後に城内の畳関係の割付状があり、城はしばらく未完成であったと思われる。

「関野」の地も『詩経』の「鳳凰鳴けり彼の高き岡に」から「高岡」と改められ、慶長十四年（一六〇九）五月の日付をもつ史料に初めて「高おか」として現れる。

利長は入城翌年三月に、腫物を患い、以後闘病生活から解放されることはなかった。また、徳川・豊臣の関係は年々悪化し、益々両者の間で板ばさみの苦しい状況にあった。慶長十六年（一六一一）八月、家臣の一部を金沢へ還し、同十七年には新川郡龜谷産出の銀子を家康・秀忠に贈っているが、それらも徳川に対する腐心の一端であった。死期の迫った利長は、

人質として江戸に住む母、芳春院との再会を望んだが、それを果たすことなく、慶長十九年（二六一四）五月二十日、五十三歳で高岡城内にて逝去した。翌年の大阪夏の陣で徳川は豊臣を滅ぼし天下統一なしとげると、元和元年（一六一五）、「一城令」を布告し、高岡城は廃城となるに至った。



本丸と二の丸を結ぶ土橋の石垣

## 編集後記

今年の上半期は、三月にカフェ「いみづ茶寮」がオープン、また、四月からは毎月一日（ついでに）限定の「つきたて菓子」をお求め頂けるように致しました。皆様からは、大変好評を頂いており、例年になく、社頭が賑わっていたように思います。

平成二十七年には、御鎮座千三百四十年・御遷座百四十年の佳節の年を迎えます。今回の総会でも報告がございましたが、今年、式年大祭準備委員会を立ち上げ、荻布精一様（崇敬奉賛会理事）に準備委員長にご就任を頂きました。これから、準備委員長を中心に、祭典並びに記念事業の諸準備を進めて参ります。

今後とも、当社に対しまして温かいご支援をお願い申し上げます。

発行 射水神社  
発行日 平成二十四年七月十日  
発行所 〒九三〇〇四四 高岡市古城一  
TEL (〇七六六) 二二一三二〇四  
FAX (〇七六六) 二二一三七二五  
印刷所 キクラ印刷株式会社



悠久の歴史にいだかれ とこしえ 永久の愛をお誓いします。



身を清め 神前に向かい誓い合う

二人の新たな始まりを

参集殿通信 手水の儀

うつくしの杜

平成24年5月挙式 田中家 米田家

## ブライダル情報

*Mitsukushi no mori Marriage Story*



平成23年12月挙式 山本家 馬場家

*Mitsukushi no mori Marriage Story*

### 2012 サマーフェスタ

7月15日(日) 10:00~17:00

- 模擬挙式並びに披露宴
- パティシエおすすめスイーツ試食
- フルコース試食会
- ブライダル相談会
- 引出物・婚礼衣装・ブライダル用品展示
- エステ体験

### お盆ウェディング相談会

8月13日(月)~15日(水) 9:00~17:00

- 和装試着体験<13日(月)のみ>
- 婚礼衣装展示
- 花嫁かつら展示
- 会場コーディネート

うつくしの杜 結婚式場

# 射水神社

射水神社

検索

U R L ■ <http://www.imizujinja.or.jp>

Eメール ■ [jinjya-k@mbs.sphere.ne.jp](mailto:jinjya-k@mbs.sphere.ne.jp)

お問合せ ■ (0766)22-0808